

質疑応答の概要

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	野球場は改修するのか。	野球場の改修は考えていません。
2	プールは彦根市内に作るのか、市外か。	プールの利用見込み等を考慮して、県内全体で場所を決めていくことを考えています。
3	市民体育センターの移転は県が行うのか。補償によって市が行うのか。	駐車場も含め、これから彦根市と協議させていただきたいと考えています。
4	市民体育センターは新しい公園内に設置することはできないようだが、国体開催時における雨天時の利用を考えると、ここから離れると意味がなくなると思う。	法律上の制約から新しい公園内に体育センターを設置することは無理なので、他の場所に移転していただくことになります。
5	高校や小学校のグラウンドを市道の北側へ移転する方法もあるのではないか。そのうえで、今回計画されようとしている道路はさらに北側に移動してはどうか。県ができれば、市が公園整備としてする方法もあるのではないか。	学校のグラウンド等の移転については、相当の費用と時間を要することから拡張の範囲から除いています。
6	高校の東側の道路はどうするのか。	通学路として利用されており、今後、市教育委員会と協議していきたいと考えています。
7	三の丸自治会と陸上競技場の間の通路をそのまま通学路としておくのは防犯上良くない。	当該通路は近江高校が所有しているもので、現在のところ、この通路は公園整備の対象範囲に含めていません。
8	東側の道路は生活道路であり、緊急車両の通行を考えると、この道は公園の駐車場へのアプローチの道としてもらっては困る。駐車違反对策についても検討して欲しい。	駐車場の出入口については、生活道路への影響がなるべくでないよう、今後関係機関とともに検討していきます。駐車違反对策については、警察との連携など今後検討します。
9	駐車場は3か所計画されているが、車のまま公園内で行き来できるのか。	公園の管理用車両や緊急車両等を除き、一般車両は一旦外へ出てから移動してもらうことを考えています。
10	公園の周囲には柵を設置しないのか。	緑地緩衝帯の整備のほか、入り口以外には柵や木々で公園の外と行き来できないようにしたいと考えています。
11	原松原線は彦根インターチェンジからどこにつながる予定か。	古沢町の大型商業施設（イオンタウン等）の裏側を通り、公園の南側の4車線の県道（国道8号古沢町交差点）につながる計画です。
12	第1種、第3種陸上競技場はナイター設備を設置するのか。	陸上競技場としての公認を受けるため、第1種については照明設備を設置する必要があります。
13	都市計画道路の整備により利便性は良くなるかもしれないが、それだけではダメ。やはり公園南側の4車線の県道をメインとして利用するように考えて欲しい。	交通アクセスについては、今後慎重に検討していきたいと考えています。

質疑応答の概要

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	地元自治会の代表者が県の検討懇話会の特別委員として第3回に特別参加するのか。	検討懇話会は全体で6回を予定しており、第3回から6回まで委員として参画していただきたいと考えています。
2	松原町住民の避難所になっている体育センターがなくなることへの対応はどうなっているのか。	体育センターは公園整備計画に取り込んだ形になっており、彦根市でも対応の検討を始められています。移転先については、施設所有者の彦根市で確保していただくよう協議していきたいと考えています。
3	小学校に通う子供たちの安全対策はどうなっているのか。	子どもたちの交通安全確保については、彦根市で市道の拡幅を検討されているところです。
4	プールは他所での整備を検討する予定とのことだが、彦根市内に作るのか。	プールの移転先は彦根市を含め全県域を対象とし、管理運営の面から人口密集地域での整備を主にして来年度検討していきたいと考えています。
5	建築設計の業者選定は、コンペか。	業者選定はコンペ方式かプロポーザル方式により行うことになると考えています。複数の業者から提案をいただくという手法であり、単に金額面だけで選定することは考えていません。
6	陸上競技場は使いやすさや機能、安全性も大切だが、景観との調和の課題もあり見た目も大切。いいものができて皆に褒めてもらえ、訪れてもらえるような施設にして欲しい。どのようなプロセスで進めていくのか。	建築については、平成28年度以降に具体的な設計に取り掛かる予定です。このため、来年度は設計に向け有識者等による懇話会のほか、さまざまな方の意見を入れてどのような競技場にしていくかを検討する予定です。
7	56国体では国体開催の2年前に高校総体が開催されたが、今回はどうなるのか。	次回滋賀県がメインとなって実施する高校総体は国体開催の次年度の平成37年度の予定です。国体開催の前年にはなんらかの大会をリハーサルを兼ねて開催する予定であり、今後大会の種別について検討します。
8	工事期間中、工事車両等は頻繁に出入りすることになるが、学校の子どもたちも含めた安全確保についてどのように考えているのか。	工事車両等に関する情報は、あらかじめ地域の皆様や学校にお知らせし、安全確保に努めたいと考えています。
9	工事中や供用による騒音等についてどのように考えているのか。	騒音や日影、電波障害などについて、あらかじめ生活環境等への影響を調査し、影響への対処の方法を検討したうえで、地域の皆さまに説明していきたいと考えています。
10	区域の確定の前に地権者への説明がない。地権者を無視しているのか。	県として、周辺の住民の皆さまへの説明も必要との考えから今回住民説明会を開催させていただいたところです。今後、地権者への説明もきちんとさせていただきます。
11	東側の農地の嵩上げについて、排水管の設置業者も決まっており、春からは用排水工事にも取り掛かる予定です。これまでまったく相談もない。	年明け早々にも土地改良区（嵩上委員会）や地権者の皆さまと相談させていただきます。

質疑応答の概要

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	船町交差点では道路が曲がっているため、右折が非常に危険。国道8号の外町交差点も渋滞がひどく、国体開催時にはより渋滞する懸念がある。	周辺の県道は公園へのアプローチも含め今後道路管理者とも協議し対策を検討していきます。外町交差点の渋滞対策は県事業の原松原線のバイパス整備により一定緩和できると考えています。
2	現在の運動場は小学校の運動会や、駐車場を廃品回収時に使ったりしたが、公園整備計画は地域にメリットがあるのか。	地域の方が公園を気軽に使ってもらえるような環境を作っていきたいと考えています。
3	公園への出入り口を教えて欲しい。	今後、皆さまのご意見をお聞きするなどして、出入り口の設定など使い勝手の良い公園として計画していきたいと考えています。
4	国体後の有効活用を考えると、気軽に使用できることが大切である。県の施設は手続きが面倒で使いにくいと思う。	県として多額の費用をかけて運動公園を整備するので、国体後の有効活用をしっかりと考えます。都市公園なので、自由に入ることができるが、自治会や彦根市などと施設利用について協議していきたいと考えています。
5	敷地拡張の部分に畑をもっている。地主としての立場から今後のスケジュールを聞きたい。	地権者の方にはなるべく早く説明させていただき、平成29年度末までには土地を提供いただけるよう進めていきたいと考えています。
6	県の有識者による検討懇話会の予定を教えてください。	公園整備の基本構想を策定するにあたり、検討懇話会は年度内にあと1回開催する予定です。その後、基本計画の策定に向け、平成27年度には検討懇話会を2回程度開催する予定です。
7	城北学区全域に説明会の案内を出して欲しい。	説明会の案内の対象範囲については、城北学区全域とする方向で彦根市と相談します。

質疑応答の概要

彦根市に対する意見・回答

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	高校野球など開催されると道路が渋滞する。新設道路など検討しているか。	都市計画道路の整備を検討していくことになっています。方向性としては、高校前の道路を拡幅し湖岸道路までつなぐ道路と、県のプールの西側の道路で、来年度検討します。
2	高校や小学校のグラウンドを市道の北側へ移転する方法もあるのではないかと。そのうえで、今回計画されようとしている道路はさらに北側に移動してはどうか。県ができなければ、市が公園整備としてする方法もあるのではないかと。	市単独での整備は考えておりません。
3	地元の者からすると道路の渋滞は迷惑である。一本でよいので、幹線道路にアクセスする道路をつなげて欲しい。	総合運動公園周辺の渋滞対策については、平成27年度に策定予定の都市交通マスタープランにて、市内の交通網を総合的に考える中で検討を行いたいと考えています。一時的な交通量の増加については、郊外での駐車場確保や誘導看板による対応も含めて総合的に検討する予定です。また、県に対しては、引き続き原松原線の早期完了を要望して行きたいと思っています。
4	都市計画道路の整備に関して、現在の道路は小学校の通学路でもあり、通勤時間帯と重なる。子どもたちが危険にさらされることのないよう安全確保を前提として計画して欲しい。特に道路横断箇所等については十分安全確保を図って欲しい。	2車線で歩道も設置し、警察等と協議しながら誰もが安全で安心して通行できる道路を整備していきたいと考えています。
5	都市計画道路の新設について、今でも朝夕の通勤時間帯に抜け道として使われており、小学校前の道路にも入ってくる。通学時間帯とかち合うので、交通安全については十分に検討して欲しい。	2車線で歩道も設置し、警察等と協議しながら誰もが安全で安心して通行できる道路を整備していきたいと考えています。

質疑応答の概要

彦根市に対する意見・回答

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	体育センターは地域の子供たちが利用してきた。平成29年の解体までに新たな施設ができるのか。	来年度、建設場所や規模等を全市的に検討する予定です。
2	体育センターの新設について、県から補償されたりするのか。	今後体育センターの移転が正式に決まれば補償等について、滋賀県と協議させていただく予定です。
3	旧松原側の道路は大黒川の河川堤防を舗装した簡易なものであり、工事車両等の通行に対応できないと考える。	市としては、国体の開催に向けて、大黒川沿いの道路を拡張整備するよう検討していきたいと考えています。
4	周辺道路の拡張も含め、交通渋滞への対策についてどのように考えているのか。	会場周辺の道路整備について、小学校前の道路を拡張し、湖岸道路まで接続させることを検討していきたい。これらの道路の整備については、都市計画の必要な手続きとともに、会場整備と併せて住民の皆さまに説明しながら進めていきたい。
5	高校前の道路を湖岸道路までつなぐと聞いたが、耕作のため、集落から道路を横断して北側の耕作地へ移動しなければならないが、交通量を考えると、高齢者にとって非常に危険である。	具体的な法線は、これから決めていくところですが、計画している道路は2車線に歩道のある道路を検討しています。交通安全については、警察とも協議して信号機等による対応も含め検討します。
6	西側の大黒川は道路工事とあわせて護岸工事も行うのか。	大黒川の改修については、左岸の道路拡幅とあわせて、修繕が必要な個所の改修を考えています。
7	大黒川の暗渠化は考えているのか。	大黒川を覆うようなことは考えていません。

質疑応答の概要

彦根市に対する意見・回答

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	公園周辺の道路や河川が変わるのか。	高校前の道路は拡幅し湖岸道路につなぎ、大黒川沿いの道路も同様に拡幅したいと考えています。大黒川と大洞川の護岸は老朽化していることから、補修等を考えていますが、埋めたり蓋等で覆ったりはしません。計画道路との交差部については、橋梁を架け替えますが、橋梁を新たに架けることは考えていません。
2	周辺の交通渋滞がひどい。交通渋滞への対策は考えているのか。	平成27年に策定予定の都市交通マスタープランで、会場周辺を含めた渋滞対策の検討を行います。一時的な交通量の増加については、郊外での駐車場確保や誘導看板による対応も含めて総合的に検討する予定です。
3	南北の幹線道路は湖岸道路と国道8号しかなく、休日は道路渋滞がひどい。国体開催時は渋滞で止まってしまうのではないかと。新たな道路を検討して欲しい。	新たな南北方向の幹線道路整備は非常に難しいと考えています。渋滞対策については、都市交通マスタープランで市内総合的に計画していきたいと考えています。国に対して米原バイパスの早期延伸について要望しています。
4	学校前の市道を湖岸道路までつなぐと居住地と農地が分断される。低速の農機で横断できるか。周辺農地の環境整備の観点についてどのように考えているのか。	今後の検討課題とさせていただき、相談もさせていただきたい。
5	拡張予定の市道や小学校や高校の排水は干拓の排水路に流れているが、土地改良区がすべてお金を出して排水している。費用は1年間で何百万円かかっている。この際、それらの排水を直接琵琶湖に流すことを考えて欲しい。	排水経路を調査し検討するとともに、土地改良区にも相談させていただきたい。
6	災害時の避難場所になっている体育センターがなくなるが、その場合の避難場所についてどのように考えているのか。	市内64施設の指定避難場所のうち、国体主会場周辺地域におきましては、他地域に比べて指定避難場所が多い状況ですが、新設される第1種陸上競技場の屋内スペースにつきましても、避難場所として利用できるよう県に要望してまいります。また、市民体育センターの新しい建設場所や規模等につきましても、来年度検討する予定ですが、その結果を含め、今後も引き続き、住民の居住状況に応じた避難場所の確保に努めてまいります。
7	東側地域から小学校に行くのに、大回りする必要がある。	小学校の通学路確保について県と協議してまいります。
8	体育センターの建て替えなら良いが、施設自体がなくなるのは困る。	今後の市民体育センターの新しい建設場所や規模については、来年度に予算を要望して検討したいと考えています。